

令和2年度 アレルギー疾患都道府県拠点病院 モデル事業報告

東北大学病院



宮城県のアレルギー医療体制の特徴

- 専門医が仙台市に集中
- 仙台市以外の地域ではアレルギー医療体制が不十分



宮城県アレルギー専門医数

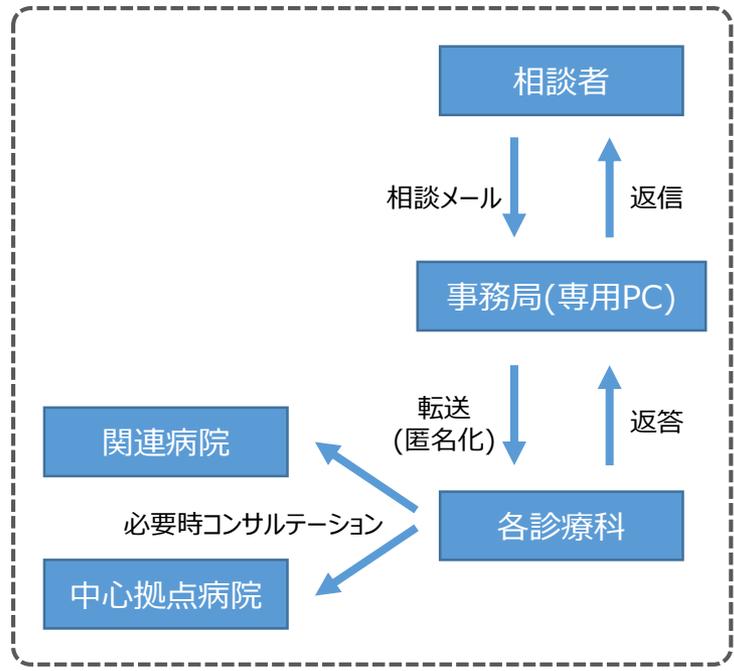
仙台市 4.1名/10万人 (44名)

仙台市外 0.7名/10万人 (8名)

(全国平均 2.8名/10万人. 2015年度)

①アレルギー疾患患者や家族に対する相談対応

- ・ ホームページに相談窓口を設置。E-mailによる相談対応。
- ・ 個人情報保護に配慮（専用PC、サーバー記録削除）



	対応方法	時間	対応者	内容
東北大学病院 宮城県立こども病院	メール	2週間以内に返信	医師	<ul style="list-style-type: none"> ・アトピー性皮膚炎の診断について ・アトピー性皮膚炎の治療について(デュピクセントが使用な医療機関問い合わせ)

②地域の医師に対するアレルギー疾患研修会の実施

- コロナ禍のため研修会をリモートで開催
- 東北大学スキルスラボの支援。Zoom webinar 使用
- 通信トラブル回避のため、講義動画は事前に撮影録画。
- Q&Aセッションで事前質問に回答。

診療科	講義	実技指導
内科	1. 成人の気管支喘息 2. アナフィラキシー	
小児科	1. 食物アレルギーとアナフィラキシー 2. 食物アレルギーの栄養指導 3. 小児の気管支喘息 4. 小児のアトピー性皮膚炎	• エピペン指導
皮膚科	1. 成人のアトピー性皮膚炎	• スキンケア・外用剤の塗り方
耳鼻咽喉科	1. アレルギー性鼻炎/花粉症	

病院	日時	場所	講演会/研修会名	演題名	対象	参加人数
東北大学病院	2020/11/24WEB		令和2年度 第1回 宮城県アレルギー研修会	成人喘息の病態と治療、アトピー性皮膚炎の診断と治療-指導のポイント-	医師、コメディカル、教育関係者	73人
東北大学病院 宮城県立こども病院	2020/12/18WEB		令和2年度 第2回 宮城県アレルギー研修会	アナフィラキシーの病態と対応、アレルギー性鼻炎の診断と治療、小児気管支喘息、小児アトピー性皮膚炎	医師、コメディカル、教育関係者	61人
東北大学病院 宮城県立こども病院	2021/1/15WEB		令和2年度 第3回 宮城県アレルギー研修会	成人喘息の病態と治療、アトピー性皮膚炎の診断と治療-指導のポイント-、食物アレルギー、食物アレルギーの栄養と指導	医師、コメディカル、教育関係者	
東北大学病院	2021/2/2WEB		令和2年度 第4回 宮城県アレルギー研修会	アナフィラキシーの病態と対応、アレルギー性鼻炎の診断と治療	医師、コメディカル、教育関係者	
宮城県立こども病院	2020/8/28WEB		養護教諭並びに栄養教諭・学校栄養職員年次研修	食物アレルギーとアナフィラキシー	養護教諭・栄養教諭	36人
宮城県立こども病院	2020/9/11WEB		学校保険研修会 食物アレルギーとアナフィラキシー	食物アレルギーとアナフィラキシーの対応を考える	学校等教職員	64人
宮城県立こども病院	2020/9/25	仙台市民会館小ホール	仙台市主催食物アレルギー研修会	食物アレルギーについて	保育園、幼稚園、こども園	76人
宮城県立こども病院	2020/10/5WEB		児童発達支援センター仙台市サンホーム 講義	よくわかる食物アレルギーとアナフィラキシー	保育士	14人
宮城県立こども病院	2020/10/14WEB		宮城県教育委員会主催の研修会における令和2年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業の一環としての食物アレルギーに関する講演	食物アレルギーとアナフィラキシーの対応を考える	新任教頭	135人
宮城県立こども病院	2020/11/13WEB		宮城県保育士等キャリアアップ研修	小児のアレルギー疾患の理解・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	保育士	73人

③ アレルギー疾患に対する情報提供

事業	内容
Webホームページ「宮城県アレルギー総合情報サイト」	専門医療機関案内、エピペン使い方実技動画、相談対応（一般・医療機関）、アレルギー疾患情報提供（疾患の概説、アレルギー関連サイトのリンクの充実）
教育機関へのマニュアル・実技指導DVD配布、アンケート調査	宮城県内小中学校600校を対象。アレルギー対応マニュアルパンフレット、実技指導DVD（エピペン、スキンケア）、アンケート調査



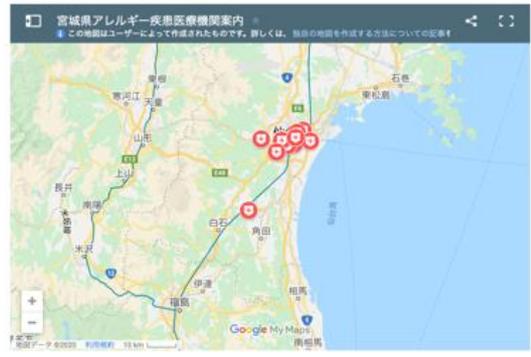
トップページ > 医療機関案内

- 医療機関案内
- ▶ 内科
 - ▶ 皮膚科
 - ▶ 耳鼻咽喉科
 - ▶ 眼科
 - ▶ 小児科

医療機関案内

アレルギー専門医が在籍する医療機関

宮城県内の、アレルギー専門医が在籍している医療機関を掲載しています。各医療機関で受けられる主だった検査・治療法を掲載していますが、最新の情報を反映していない場合がございます。また、受診のために紹介状・予約が必要な医療機関がありますので、あらかじめご確認ください。



食物アレルギー緊急時対応マニュアル

アレルギー症状への対応手順

アレルギー症状がある
(症状の発現が認められる)

原因食物を食べた
(可能性を食む)

原因食物に触れた
(可能性を食む)

アレルギー症状

全身の症状
○痒みがない
○腫脹もみょうろ
○くっつき
○涙や痰を流らす
○鼻が熱ににくい
○唇や爪が青白い

呼吸器の症状
○声が出なくなる
○犬が吠えるような咳
○のどや胸が締め付けられる
○咳
○息がしにくい
○ゼーゼー、ヒューヒュー

消化器の症状
○腹痛
○吐き気・おう吐
○下痢

皮膚の症状
○かゆみ
○じんましん
○赤くなる

顔面・目・口・喉の症状
○顔面の腫れ
○目のかゆみや充血、まぶたの腫れ
○くしゃみ、鼻水、鼻づまり
○口の中の違和感、唇の腫れ

発現者が行うこと

- ① 子供から目を離さない、ひとりにならない
- ② 助けを呼び、人を集める
- ③ エピペン[®]と内服薬を持ってこよう指示する

A 施設内での役割分担

緊急性が高いアレルギー症状はあるか?
5分以内に判断する

B 緊急性の有無と対応 B-1参照

ある

B 緊急性の有無と対応 B-2参照

① だだちらにエピペン[®]を使用する

② 救急車を要請する(119番通報)

③ その場で安静にする

④ その場で救急隊を待つ

⑤ 可能な限り内服薬を飲ませる

エピペン[®]が2年以上経過した場合は、医師が近くで処方がない限り、心臓蘇生を行う

B 心臓蘇生とAEDの手順

C エピペン[®]の使い方

D 救急要請のポイント

E エピペン[®]を使用し10~15分後に症状の改善が見られない場合、次のエピペン[®]を使用する

F エピペン[®]の使い方

ない

内服薬を飲ませる

保護者または、安静にできる場所へ移動する

5分ごとに症状を観察し
症状チェックシートに
記入し、対応する
緊急性の高いアレルギー
症状の出現には特に注意
する

F 症状チェックシート

宮城県学校保健会 ● 宮城県教育委員会

④アレルギー疾患に係る診断等支援

事業	内容
診断治療支援	<p>紹介アレルギー患者数： 東北大学病院 呼吸器内科 150人/年、皮膚科 50人/年、耳鼻咽喉・頭頸部外科 60人/年、眼科 20人/年 宮城県立こども病院アレルギー科 420人/年</p> <p>検査：血液検査、画像検査、呼吸機能検査、呼気一酸化窒素測定、気道過敏性試験、喀痰好酸球数測定、気管支鏡検査、EASI、POEM、鼻重好酸球数測定、鼻咽腔・喉頭ファイバー検査、細隙灯顕微鏡検査、涙液IgE測定、食物負荷試験</p> <p>治療：標準的な薬物療法に加えて、生物学的製剤による治療、舌下免疫療法、経口免疫療法、手術療法、免疫抑制剤点眼などの高度医療提供</p>
実態調査	<ul style="list-style-type: none">宮城県内の医療機関（病院、診療所 約1,600）を対象県内のアレルギー疾患対応の現状、拠点病院に求める地域でのアレルギー診療課題を解明次年度以降の宮城県アレルギー疾患医療連絡協議会の事業活動の基盤情報として利用2021年1月～3月の間、オンラインフォームで回答宮城県医師会の後援